



謹賀新年

まとまったお休み、有意義に使えたでしょうか。今年の干支は「<sup>うま</sup>馬」です。馬は人間社会とのかかわりが深く、今も観光やスポーツ、神事など多方面で活躍する馬がいます。力強く、跳躍する馬のようにみなさんも飛躍の年となるように…。今年も自身の読書活動を実りのある1年にしていきたいと思います。



図書館内に、『本の神社』を建立。1月中は無料のおみくじが引けます。裏面では君におすすめの本を紹介！ご利益が減りますので、1日1回を目安に…。(入っているくじは、日によって①願事・学問、②恋愛のどちらかになります。)

\* 運試し、してみませんか? \*

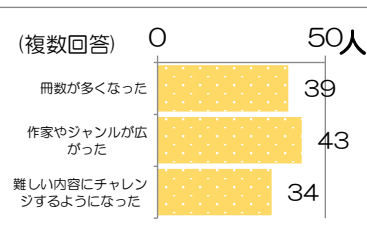
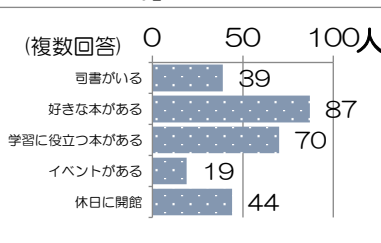
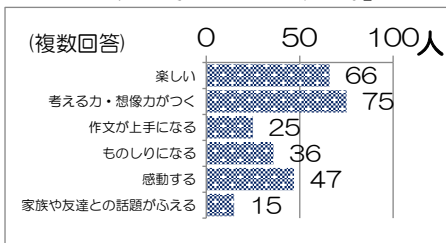
### 読書アンケートの結果をお知らせします!

宇都宮市の調査で、陽東中学校の各学年1クラスを抽出し、読書アンケートをとりました。協力してくれた(1-6), (2-1), (3-5)の皆さん、ありがとうございました。「本を読むことが好き・ふつう」と読書に対して肯定的な回答が、92%と、高い割合を占めています。この1か月間に読んだ本はおおよそ10.5冊/1人。2025年全国学校図書館協議会調査の冊数(3.9冊)を大きく上回りました。また、読書が『楽しい』、読書をすることで『考える力・想像力がつく』と答えた生徒の割合が高く、学校図書館に望むこととして、『好きな本がある』、『学習に役立つ本がある』が多く挙げられました。(陽東中学校回答数計88人の集計結果)

「あなたは、読書についてどのように考えていますか。」

「学校図書館(学校の図書室)に望むこと。」

「この1か月に読んだ本について、あてはまるもの。」



(インタビュー撮影の様子)



## 読書のすすめ

お正月の名物『箱根駅伝』では、今年もたくさんのドラマがありました。感動や勇気をもたらした人もいるのではないのでしょうか。箱根駅伝はマラソンの父として知られる金栗四三らの「世界に通用するランナーを育成したい」との思いから、誕生しました。**10区間の選手たちが襷をつなぐ、熱き戦いー**



『俺たちの箱根駅伝 上・下』 池井戸 潤 著 文藝春秋

2年連続で箱根駅伝の本選出場を逃した崖っぷちチーム、古豪・明誠学院。チームを率いることになった伝説のOB・甲斐。彼が掲げた“規格外”の目標とは？一本気で戦わないレースからは何も得られない。



みなさん、『宇都宮市電子図書館』を活用しているでしょうか？宇都宮市立図書館から「宇都宮市電子図書館だより」が届きました。どんな本がランキングに入っているのかな？さっそく『学校図書館クラスルーム』でチェックしてみましょう。



図書委員による『先生方おすすめ図書』の紹介が放送で行われています。紹介された本について、各学年のフロアに掲示していますので、聞き逃してしまった、じっくり読んでみたい人は見てみてください。先生達の新たな一面を知ることができるかも！また、本が揃い次第、特集コーナーを設置予定です。(ただし、品切れ等で取り寄せができなかった本がいくつかでてしまいました。楽しみにしてくれていた人、ごめんなさい。詳しくは図書館クラスルームで確認してください。)